

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

国土交通省では、少子高齢化社会に対応するため、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが積極的に活動できるバリアフリー環境の構築をソフト施策の面から実施しています。

車いす使用者

段差を回避する
ルート我希望



健常者

最短ルートを希望



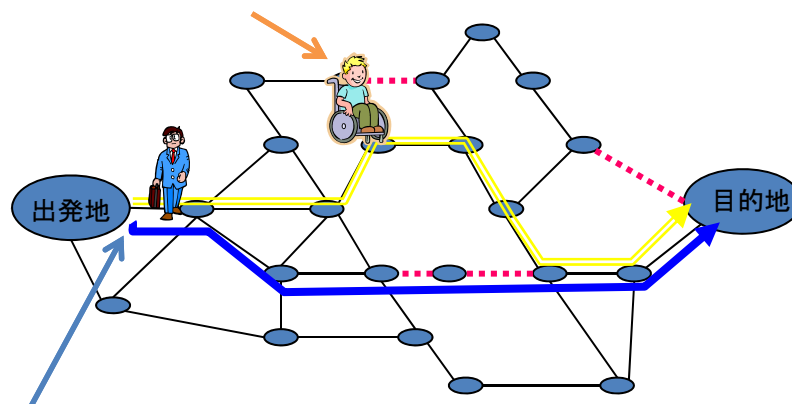
— バリアのない経路

..... バリアのある経路
(階段や坂道、狭小部など)

段差の少ないルート案内

最短ルート案内

現在位置に合わせて、**利用者の属性に応じた経路案内情報**などが届く



現在位置から最短の経路案内情報などが届く

市場に普及している経路検索サービスの多くが最短経路を案内するものですが、国土交通省では利用者の属性に応じてバリア経路を回避する経路検索サービスの普及を行っています。

位置特定技術

衛星測位

無線LAN測位

マーカ(電波、赤外線)

ICタグ

二次元コード

【端末内の動作】

アプリの入手

↓

利用者の要望入力

↓

位置情報の読込

↓

データの検索
アプリの利用

↓

サービスの提供



サーバ

場所情報コード
(Ucode)

歩行空間ネット
ワークデータ

施設情報

観光情報

地図アプリ

観光案内

その他アプリ

サービスは、急速的に普及しているスマートフォンで利用することができます。位置特定技術を用いて、歩行者の位置情報を取得し、スマートフォンに利用者の条件を入力します。それをもとに目的地までの経路を案内するサービスです。

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

平成24年7月19日(木)、4月期の人事異動に伴い、省内関係者と全国都道府県・政令指定都市 国土交通省担当者連絡協議会の皆様を対象に、歩行者移動支援を実際に体験して頂くために、銀座体験視察を東京都のご協力のもとに実施しました。



地下鉄銀座駅(B2出口)に集合し、猪股課長補佐が本日の現地視察について、参加者に説明をしました。
健常者の優先する経路でなく、**バリアを避ける経路での道案内を開始！**
目的地は数寄屋橋です。



まずは駅構内の視察です。
位置特定装置の「赤外線マーカ」が、天井に設置されています。**(地下ではGPSによる位置特定はできません。)**
これにより、各自に配布された携帯端末(ユビキタスコミュニケーションター)の位置を特定します。

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

普段は気がつかない隠れた経路。

歩行者移動支援システムには、経路発見の楽しさと驚きもある。



普段はあまり利用しないエレベーターを使って、路上に出ました。柱に設置されているのは「電波マーカ」という位置特定装置です。**ビルが乱立する都心では精度が優れないGPSを補う**ため設置されています。赤外線マーカは5m程度が測位範囲ですが、電波マーカは20m程度まで測位が可能です。



目的地の数寄屋橋に到着しました。
ここで、携帯端末をユビキタスコミュニケーターからAndroid対応の携帯電話に変更しました。
東京の街歩きの開始です！

※ユビキタスコミュニケーターはスマートフォン普及前に開発された専用端末であり、現在は一般に普及しているスマートフォンでも当該サービスが利用できるようにサービスの見直しを行っている段階です。

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

東京の街歩きに詳しくなりたいなら、まずは「ココシル銀座」にアクセス！
ココシル銀座をアプリの形で持ち歩けば、街歩きをしながら情報ゲット！



東京都では「ココシル銀座」という取組がなされています。現在地の把握や街の観光スポットの案内など、街歩きには欠かせない様々なサービスを、スマートフォンで楽しむことができます。

なお、ココシル銀座のアプリはGoogle Playなどのサイトからダウンロードすることができます。



左上：現在地把握の様子

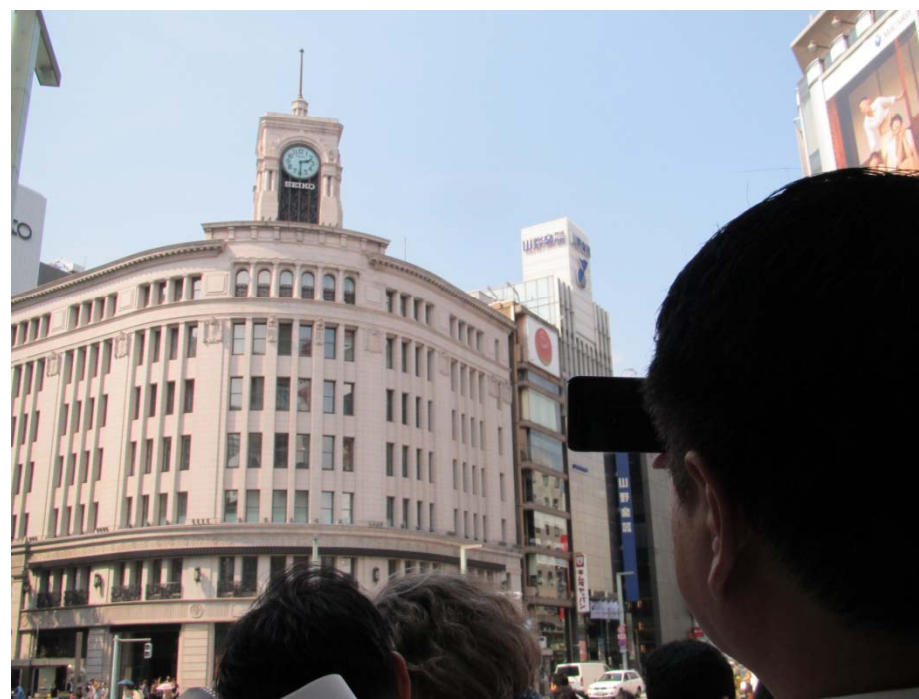
右上：観光スポット案内の様子



銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

現在位置と一緒に周辺の情報も欲しい。

そんな時は、ココシルのkokosil scope機能を使って、周囲を撮影しよう！



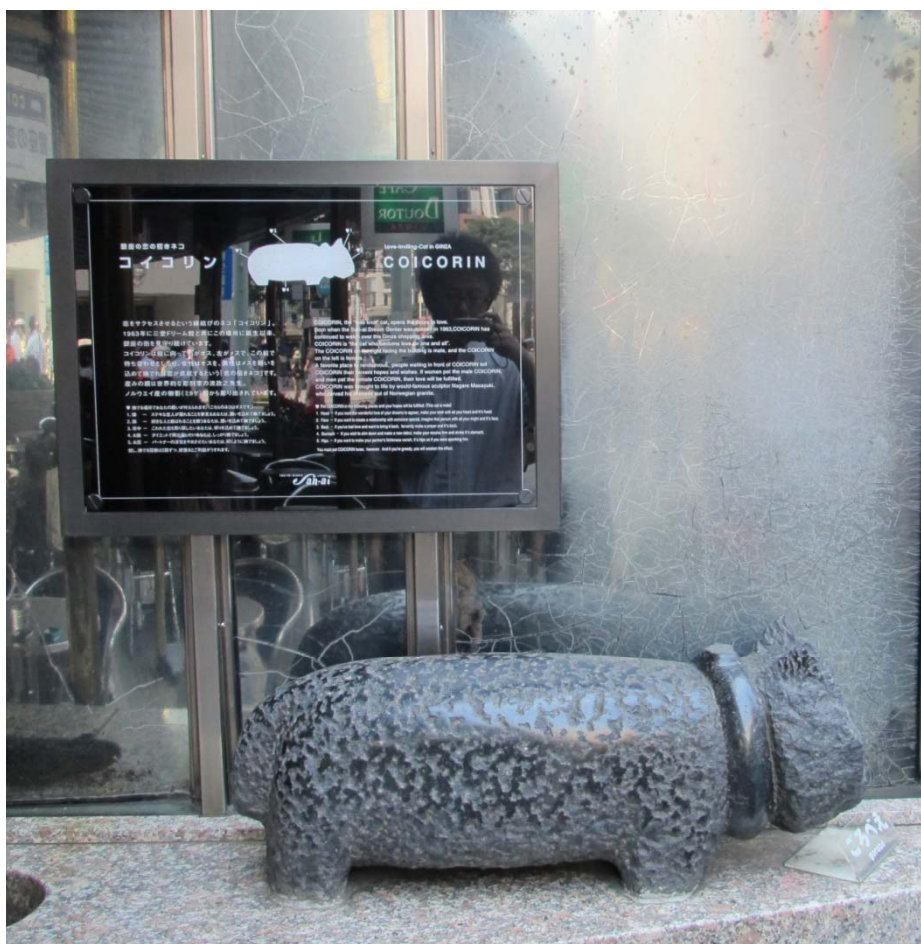
kokosil scope機能をスマートフォンで立ち上げ、周囲のランドマークを撮影すると、現在自分のいる位置が地図上に表示されます。
またランドマークやその周辺環境の解説もしてくれます。

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

こんなものが、4丁目の交差点にあったなんて！

知らないことは、たくさんある。

「銀ブラ」の語源は・・・銀座をブラブラすることではなく、実はある国が関わっている！



コイコリンとは、三愛ドリームセンターの・・・

観光スポットに到着すると、**事前登録されているスポット情報が流れ出します。**

写真は、銀座4丁目交差点に建つ三愛ドリームセンターのマスコットである恋の招き猫「コイコリン」を紹介している様子です。

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

携帯をかざせば、すぐその場で自分の位置が地図上に表示される。
道に迷った時には、すぐにかざそう！



ココシル銀座アプリを持っていれば、位置特定装置を使用することで、地図上に現在位置を表示することも可能です。
ここではICタグを用いた位置特定技術で現在位置を特定しています。



板の中にucodeを用いた場所情報コードが埋め込まれていて、それに携帯端末をかざすことで現在位置情報を引き出し(PULL)、地図上に表示します。

銀座で、「歩行者移動支援システム」を体験してきました

一連の体験視察を通して今回私が実感したこととして、
「歩行者移動支援システム」を導入し、ユーザに利用して貰うことは・・・

東京の 人より東京 知る 機会
機械

という側面も持っているということでした。
(もちろん本来の目的の経路検索も充実していました。)

今回の体験視察に参加して頂いた皆様ありがとうございました。
また東京都をはじめ、視察にあたって協力をして頂きました皆様方に厚く御礼を申し上げます。